ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Press Release

政府統計

報道関係者　各位

令和8年 11 月 25 日
【照会先】
政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官　　橋本
室長補佐　　西原
（担　　当）　中高年者縦断統計係
（代表電話）　03-5253-1111（内線 7594）
（直通電話）　03-3595-2323

第 21 回「中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）」の結果を公表します

～2005（平成 17）年から 2025（令和7）年まで、同一の中高年者世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）」の第 21 回（2025（令和７）年）の結果を取りまとめましたので公表します。

中高年者縦断調査は、2005（平成 17）年 10 月末に 50～59 歳であった全国の中高年者世代の男女に対して、家族の状況、健康の状況、就業の状況などを継続的に調査し、高齢者対策などの厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第 21 回調査では、2005（平成 17）年の第１回調査から協力が得られた 14,453 人について集計しており、調査対象者の年齢は、70～79 歳となっています。

【 調査結果のポイント 】

１　健康の状況

・第 21 回（70～79 歳）調査では、「自分の歯は 20 本以上あり、入れ歯を利用していない」者の割合が男女ともに最も多い（５頁　図３）

・第 21 回（70～79 歳）調査では、第１回調査から 20 年間継続して運動している者は、「日常生活活動で困難なし」と感じる者の割合が多い（５頁　図４）

・第 21 回（70～79 歳）調査では、日常生活でできることのいずれの項目においても「問題なくできる」者の割合が多い（６頁　図５）

２　就業の状況

・第 21 回（70～79 歳）調査では、第 10 回調査までに仕事のために免許・資格を取得している者で、「仕事をしている」は約４割（８頁　図７）

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。